

平成22年11月12日

## 公益財団法人 日独協会

### 平成22年度事業計画

公益財団法人日独協会が10月13日にスタートして来年3月31日まで半年の事業年度となるが、公益へのサービス充実が重要なテーマであり、来年4月1日以降の新年度への助走期間という位置づけで運営する。各種規程の整理と作成は急務である。又若者の交流を促進する観点より、若い人(20～40代)の会員を増やす為の目標設定、具体策を策定する。又サービス充実という観点より12月5日に事務移転を計画しており、結果として事務所スペースが拡大し、会員以外の一般の人たちの各種の公益事業への参加が容易となり、それらを企画する側の効率アップ、コスト削減が実現の見通しである。更に10月16日に「日独交流150周年」の両国政府レベルの公式開始式典が10月祭を兼ねて横浜のドイツ学園で開催され、来年12月末まで数多くの記念事業が両国間の交流を深めることになる。

#### (1) 日独相互理解促進交流事業(公1)

##### シュタムティッシュ

10月18日「Wir sind ein Volk....auch wirtschaftlich?」、11月29日「ワインプロローベ」はドイツ語圏文化セミナーを兼ねている。12月はクリスマスの企画があり開催せず、1月は賀詞交歓会を兼ねており2月、3月は予定通り月一回開催予定。テーマに合わせた軽食の用意で、以前に比べて歓談の時間を楽しんでもらうよう計画している。以前は機関誌とHPに簡単な告知のみを掲載していたが、今後はチラシを作成し、HPやツイッター等での一般の大衆への告知に注力する。

##### JGシュタムティッシュ

11月13日に「野外バーベキュー」を国営昭和記念公園にて開催予定で、来年1月、2月、3月は新事務所内で開催予定。DJナイト、ドイツの若手ミュージシャン起用による音楽会等今後の課題である日独の若手交流に注力したい。

##### 最新のドイツのニュースを楽しむ会 独逸塾

公益認定後初めての独逸塾が10月25日に開催され16名を超える参加者で、「EUの人件重視の政策がドイツ国内の犯罪者の拘留に影響あたえる」というテーマで、参加者の関心も高く、今後も従来通り毎月1回の開催を予定。この企画は関心が高く更に一般の人に呼び

かけを高めれば、新しい事務所では会議室も大きくなり、もう少し参加者の数を増やせるものと思われる。

#### 日独交流 150 周年記念事業準備

2011年4月12日に東京で出迎え、その後鎌倉、群馬、長野、金沢、岐阜と日本の文化と歴史を訪ね、且つ各地の日独協会との交流を温め4月24日に奈良到着、25日が奈良でのパートナー会議に出席する独日協会一行の受入準備が3月までの最大の仕事である。同時並行的に上智大学との協賛で5月28日開催予定のシンポジウム「少子高齢化と移民受入問題」の開催準備も進める予定。

#### ドイツ政府機関との交流、共同作業

上記150周年記念事業準備の過程において、ドイツ連邦共和国大使館、Goethe-Institut、ドイツ学術交流会(DAAD)、ドイツ東洋文化研究所、ドイツ商工会議所、ドイツ観光局との連携は不可欠であり、例年以上に接触の頻度を増しそれぞれの機関との共催による記念事業企画(例、奈良先端技術大学院大学、DAADとの共催によるシンポジウム開催の準備、ドイツ大使及びその他機関の関係者をお招きしてのクリスマス会等)の準備及び開催。

#### (2) ドイツ文化に関する講演会等の事業(公2)

(文化講演会、セミナー)

10月はすでに2つのセミナーを開催済みで、11月はRita Briel先生によるドイツ語圏分化セミナーたる位置づけの「ドイツのクリスマスのお菓子教室」、12月は「クリスマスの集い」を開催予定、1月以降も毎月開催予定。「ドイツリートの勉強会」は11月以降毎月開催予定。

#### (3) 日独相互理解のための出版事業(公3)

(ホームページ、メーリングニュース、機関紙「Die Brücke かけ橋」の発行)

メーリングニュースはドイツに係る協会以外の企画情報も掲載した結果、広く一般からの問い合わせが増えてきている。機関誌は読者が読みやすい、理解しやすいという処に力点を注ぎ、更に硬軟両面のバラエティーを付けることにより情報発信能力を高めることを目標とする。Brückenbauerのパワーポイント化は今期中に完成予定。

#### (4) 日独相互理解と親善のための事業(公4)

(ドイツ語講座)

言葉は文化伝承、交流のための最良の、且つ最大の武器であり、これを学ぶ機会に同時にドイツ文化を吸収してもらうような講座を目指し更なる努力を続ける。今年12月5日

新事務所への移転が完了すれば、2クラスの別講座同時開催が可能となり受講者の数も増やすことが可能となる。

(5) その他事業〈共益〉

\*クリスマスの集い（日独合同パーティー） 12/13、（ドイツ商工会議所との共催）

12/2

\*ワイン塾（10/29に開催済み、次回は2011年1月末予定）

\*バッハのマタイ受難曲研究会（毎月1回予定）